

# 囲碁ってなに

囲碁は無から有を作り出す構築型のゲームで、創造力、構想力を養い、集中力、総合的判断力が身に付きます。さらに礼儀が身に付き、年齢、性別、国境などに関係なく楽しむことができます。

◎ ルールは、たったのこれだけです。

- 1、線と線の交わっているところに打つ。
- 2、打った石は動かさない。
- 3、相手の石のたてと横を囲ったら取れる。
- 4、コウという約束がある。
- 5、囲った地の大きい方が勝ち。



◎ 相手の石は囲ったら取れる。

- 1図 相手の石のたてと横を囲いました。 2図 相手の石を碁盤の上から取り除きます。
- 3図 ななめ(×)は線で繋がっていないので、自分の石があっても相手の石があっても関係ありません。
- 4図、5図 辺(碁盤の端)や隅では線のないところは関係なく取れます。
- 6図、7図 どんなにたくさんの石でも、線で繋がっている石は一度に取ることができます。

1図

2図

3図

4図

5図

6図

7図

と取る一つ前の形を「アタリ」といいます。1図、4図、6図、7図の黒石を一つ少なくしたかたち形です。

8図、9図、10図 囲まれたら取られるので、取られた形の所Aには打てません。

8図

9図

10図

11図、12図、13図、14図は、黒がAに打つことができます。白石を取ることができるからです。

11図

12図

13図

14図

15図 黒はAにもBにも打つことはできません。黒は取られた形をしているからです。A、Bを「眼」といいます。

15図

16図

16図 Aに白石がないと黒Aに打つことができます。

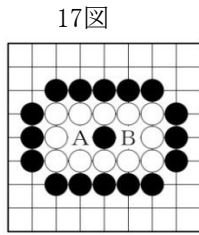
17図 白はAに打ってもBに打ってもアタリで取られます。黒はAにもBにも打つことができます。

白が取ってきて、もう一度まん中に打てば白はアタリですので、取ることができます。

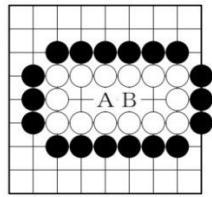
18図 白はこのまま取られることはありません。AかBに打つことができるからです。とられない形を生きといいます。

19図、20図 黒も白もAかBに打つとアタリになり、どちらも手出しができません。

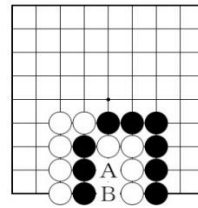
この形を「セキ」と言い、どちらの石も生きています。セキの形は他にもあります。



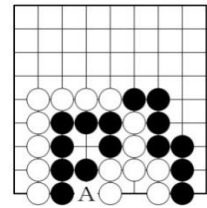
17図



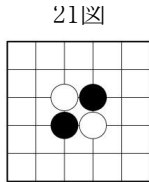
18図



19図



20図



21図

実際に石取りゲームをしましょう。6路盤または7路盤を使って打ちます。

21図のように石を置いてから始めましょう。黒の人から打ち始めます。

始めは1つ取ったら勝ちです。黒と白を交互に変えて打ちましょう。

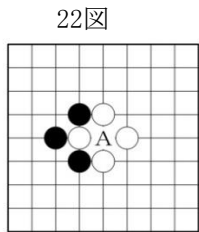
なれてきたら3つ取ったら勝ち、5つ取ったら勝ちと増やしていきましょう。

打つ時は「おねがいします」終わったら「ありがとうございました」と言いましょう。

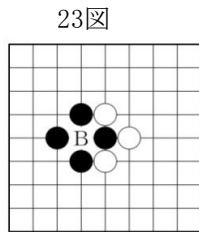
### ◎ コウという約束があります。

22図 黒はAに打てば白を取れます。 23図 白もBに打てば黒を取れます。これを繰り返しているとゲームが進行しません。この形をコウと言って、すぐに取り返すことができません。

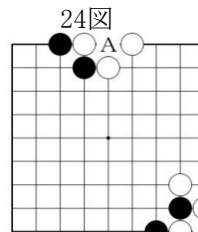
1回よそに打てば取り返せます。 24図、25図 辺や隅でも同じです。



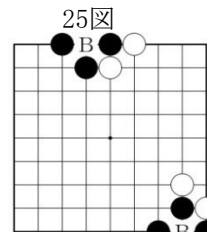
22図



23図



24図



25図

### ◎ 勝ち負けはどうやって決めるの？ 囲った地の多い方が勝ちです。

26図 お互いに囲った形です。黒が囲ったところは21目、白が囲ったところは14目、黒が7目勝ちです。

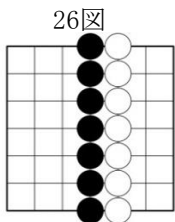
27図 実戦ではお互いに邪魔をします。まっすぐの地にはなりません。これは黒が4目勝ちです。

28図 実際に地取りゲームをしましょう。6路盤があればに図のように石を置いて打ちます。

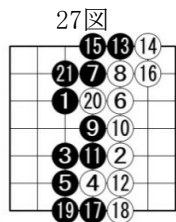
29図は実戦例です。黒、白とも10目の地で、引分です。引分のことをジゴといいます。

慣れてきたら7路盤で30図のように置いて打ちましょう。31図は実戦例です(途中まで)。

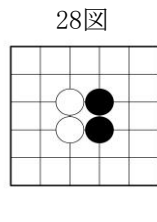
32図～35図 9路盤で打つ時も初めは石を置いて打ちましょう。慣れてきたら石を置かずに打ちましょう。



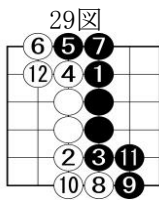
26図



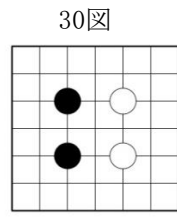
27図



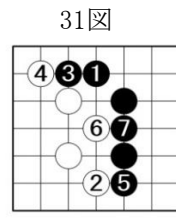
28図



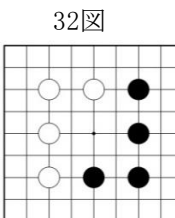
29図



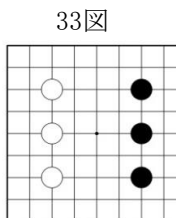
30図



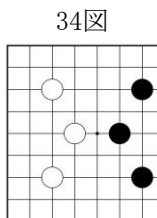
31図



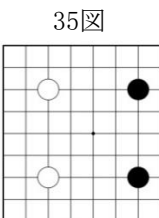
32図



33図



34図



35図

囲碁はすべてのゲームの中で、最もルールの少ないシンプルで、最も変化の多いゲームです。そして何も無いところから始まる唯一のゲームです。そのため、想像力だけでなく、創造力、構想力を養います。碁を覚えて、脳を活性化しましょう。